

## ぬかびら野外スポーツ地域

十勝西部森林管理署東大雪支署

### 【ぬかびら野外スポーツ地域】

上士幌町にある、ぬかびら野外スポーツ地域は、大雪山国立公園の中に位置し、四季折々で自然観察や登山、スキーや森林浴、温泉保養等様々な楽しみ方ができるスポットとして、道内はもとより全国から多くの観光客に親しまれています。

### 【主な歴史と特徴】

「ぬかびら」は、アイヌ語で「人の形をした岩」という意味の「ノカ・ピラ」が語源です。

歴史としては1919年に島隆美氏が原生林の中に温泉を発見し、湯治場としての開発が始まりました。

1956年には、発電専用ダムとして糠平ダムが建設され、その際にできた糠平湖には、現在、多くの観光客などが訪れ、初夏から秋にかけては、湖畔のキャンプ場でのサイクリング、自然探索、秋は湖面に映る紅葉などの景観を堪能、冬はワカサギ釣りを楽しむなど、四季折々の姿を見せてくれます。

また地区の中には、1987年に廃線となった旧国鉄士幌線のコンクリートアーチ橋梁群があり、現在では、鉄道橋としての活躍を終え北海道遺産や国の登録有形文化財に指定され、北海道内でも有名な観光地となっています。



### 【楽しみ方】

#### ◇ぬかびら温泉郷

ほぼすべての宿が「源泉かけ流し宣言」をしていることが特徴で魅力のひとつであり肌がなめらかになる「美肌の湯」としても有名で、足湯等ができるスポットもあります。

#### ◇タウシュベツ川橋梁

東大雪の開拓の歴史を伝える近代産業遺産である旧国鉄士幌線アーチ橋梁群の一つで、糠平湖の水位によって限られた季節にのみ姿を現すことから「幻の橋」と呼ばれ、その神秘的な姿を一目みようと、毎年全国各地から観光客が訪れています。

#### ◇ぬかびら温泉郷スキー場

温泉街から徒歩でアクセスでき、国内最上クラスと評される良質のパウダースノーで多くのスキーヤーやスノーボーダーを魅了し、スキーの後は温泉に浸かって疲れた体をリフレッシュ出来ます。

#### ◇国設ぬかびら野営場

シラカバの木々に囲まれた静かな林間キャンプ場です。川のせせらぎや鳥のさえずりが日常の疲れを癒やしてくれます。ゴミステーションやトイレ、炊事場が完備されているため、遠方からでも安心して利用できます。

### 《アクセス》

- ◎新千歳空港（道東道（音更帯広 IC）約 120 分）⇒一般道（60 分）⇒ぬかびら野外スポーツ地域
- ◎札幌駅⇒（道央道（札幌南 IC）約 150 分）⇒道東道（音更帯広 IC）⇒（一般道：約 60 分）⇒ぬかびら野外スポーツ地域
- ◎帯広駅⇒（一般道：約 70 分）⇒ぬかびら野外スポーツ地域